

【報道提供資料】

PRESS RELEASE



日本遺産『葛城修験』－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』の追加認定について

泉南市、貝塚市、熊取町は、令和6年度「日本遺産（Japan Heritage）」認定内容の変更において、『葛城修験』－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』のストーリーの内容を充実させるものであるとして、次のとおり構成文化財の追加認定を受けたのでお知らせします。なお泉南市、貝塚市、熊取町に所在する文化財としては、それぞれ初の日本遺産認定となります。

令和6年度日本遺産「葛城修験」追加構成文化財一覧

番号	文化財の名称	指定等の状況	ストーリーの中の位置づけ	文化財の所在地
R6-1	金熊寺 （きんゆうじ）	未指定 （建造物）	『葛嶺雑記』にみられる「二十八所の峠」のひとつ「風吹越」への道中に位置する真言宗御室派の寺院。鎌倉時代末には複数の堂塔を有していたとの記録がみられるが、現在は観音院が法灯を伝えている。『一乗山金熊寺記』をはじめとする縁起によれば、役行者が如意輪観音像と草堂を造り、金峯、熊野両神を勧請し、その鎮守としたことから金熊寺と号するようになった。本尊の如意輪観音像は室町時代後期の作。	大阪府 泉南市
R6-2	信達神社 （しんだちじんじや）	未指定 （建造物）	金熊寺に隣接する神社で、神仏分離までは金熊寺の鎮守社として「金熊寺権現宮」と呼ばれていた。『葛嶺雑記』にも、当社に関連する記載がある。中世以降、信達荘13カ村の総社であった。江戸時代前期の五間社流造りの本殿のほか、江戸時代中期の大規模な割り拝殿が残る。	大阪府 泉南市
R6-3	蕎原とちのき谷 （そぶら）	未指定 （史跡）	今日まで「葛城山伏行所」と伝える和泉葛城山中の谷で、別名「不動谷」という。『葛嶺雑記』には、役行者が護摩修法を行った旧跡であると記し、山塊が迫る険しい谷奥には、かつて行場であった不動の滝がある。	大阪府 貝塚市
R6-4	降井家住宅 （ふるいけじゅうたく）	未指定 （書院は重文）	江戸時代の岸和田藩庄屋。泉佐野市の「奥家文書」（「阿遮羅院書状」）によると、江戸後期の文化年間に、聖護院門跡が行う「葛城灌頂」（中津川修行）において、修行の休息所として利用されたことが記されている。	大阪府 泉南郡 熊取町

1 ストーリー概要

大阪と和歌山の府県境を東西に走る和泉山脈、大阪と奈良の府県境に南北にそびえる金剛山地。総延長 112 km に及ぶこの峰々一帯は「葛城」と呼ばれ、修験道の開祖と言われる役行者がはじめて修行を積んだ地であり、世界遺産の吉野・大峯^{おおみね}と並ぶ「修行の二大聖地」と称されています。そしてその修行にはいつの時代も、この地に暮らす人々との深いつながりがありました。

日本遺産『「葛城修験」－里人とともに守り伝える修験道はじまりの地』は、令和 2 年に文化庁より認定されました。当初は和歌山県、大阪府、奈良県の 3 府県にまたがる 19 市町村、91 件の構成文化財によるものでしたが、令和 3 年に 2 件の文化財が追加認定されたことで 20 市町村、93 件となり、さらに今年度の認定内容の変更によって、23 市町村、97 件の文化財によって構成されるものとなりました。

2 今後の取り組み

泉南市、貝塚市、熊取町は、今回の認定内容の変更により日本遺産「葛城修験」の申請者に加わることとなり、府県、関係市町・団体等で構成される葛城修験日本遺産活用推進協議会(事務局:和歌山県観光振興課内)とともに、日本遺産葛城修験の認知度向上のため、以下の事業に取り組みます。

(1) 公開活用のための整備

追加認定された「葛城修験」構成文化財に関する案内板の整備等を行います。

(2) 人材育成

地域が中心となって日本遺産関係地域を訪れる観光客の受入を行うため、日本遺産ガイドを養成します。

(3) 情報発信

国内外に積極的に情報発信をするため、ガイドブックや H P 等各種ツールを作成します。

(4) 普及啓発事業の実施

地域の歴史や葛城修験にゆかりのある観光資源の魅力を PR するため、普及啓発事業を実施します。

(5) 調査研究

構成文化財に係る史資料に関して、将来の調査研究に備え総合的な把握に努めます。

3 追加認定を受けた文化財について

R6-1 金熊寺(泉南市信達金熊寺)

役行者が本尊である如意輪観音像と草堂をつくり、金峯、熊野両神を勧請し、その鎮守としたことから「金熊寺」と号するようになったと伝わっています。鎌倉時代にはいくつもの堂塔を備えていたとの記録も残り、和泉における山岳宗教の拠点であったといわれます。谷地形を巧みに利用して開かれた金熊寺集落の最深部に立地し、約 1,500 坪を数える境内には本堂や庫裡^{くら}に加えて、行者堂、薬師堂などが建てられています。現在法灯を伝える観音院には、室町時代後期作の如意輪観音像が本尊として安置されます。

R6-2 信達神社（泉南市信達金熊寺）

明治の神仏分離政策によって信達神社となりましたが、それまでは、金熊寺^{こんびんぐう}権現宮と呼ばれ、金熊寺の鎮守社でした。嘉永2（1849）年、犬鳴山の^{あこつ}智航大徳上人によって著された『葛嶺雑記』にも当社に関する記述がみられます。中世以降は、信達荘13カ村の総社と位置付けられており、根来寺^{ねごろうでら}へと通じる「風吹越」（根来街道）沿い、現在の境内から北へ約2.4km離れた地点には一の鳥居である大きな石造鳥居が残ります。深緑の谷あいにかかれた境内の最頂部には、江戸時代前期の五間社流造の極彩色の本殿が建ち、大規模な割り拝殿（江戸時代中期）と併せて、往時の栄華を偲ぶことができます。神木であるナギノキとオガタマノキはともに大阪府天然記念物に指定を受けています。

R6-3 蕎原とちのき谷（貝塚市蕎原）

蕎原とちのき谷は、今日まで「葛城山伏行所」と伝えられる和泉葛城山中の谷であり、別名「不動谷」といいます。『葛嶺雑記』には、蕎原とちのき谷には「金剛童子、御爪彫りの地藏、護摩場に不動」があり、役行者が護摩修法を行った旧跡であると記されています。谷の入り口近くには、「^{しょうごいんごようはいしよ}聖護院御用拝所 ^{ぶつそうざんふどうみょうおう}佛念山不動明王 ^{これ}是より^{にちよう}二丁」と彫られた石の道標が立てられています。ここから、巨石が転がる、細く険しい谷を登っていくと、岩壁がそそり立つ落差10mもの滝が現れます。これが『葛嶺雑記』に「不動」と記され、滝そのものが不動明王として篤く信仰された「不動の滝」です。蕎原とちのき谷は、荘厳な葛城修験の行場の姿を今に伝えています。

※私有地につき立ち入りできませんのでご注意ください。

R6-4 降井家住宅（泉南郡熊取町大久保中）

降井家は、古くより当地方の旧家であり、江戸時代には岸和田藩七人庄屋の筆頭を務めています。泉佐野市の奥家に残る「奥家文書」（「阿遮羅院書状」）によると、江戸後期の文化年間に、聖護院門跡が行う最も重要な儀式である「葛城灌頂」（中津川修行）へ赴く際、熊取大久保^{なかさだゆう}の中左太夫（降井）家に休息所として立ち寄り、中津川に至ることが記されており、葛城修験との関係性が窺えます。

また、修験者の拠点でもあった根来寺との関係も深く、根来寺にある降井家の子院^{じゆみょういん}「寿命院」に、代々子弟を送り込む氏人でありました。

降井家の邸内には江戸初期の数寄屋風の書院^{しよいん}（国指定重要文化財）や、明治初期の豪壮な主屋、表門、土蔵、鎮守社、樹齢数百年のくろがねもち（町指定天然記念物）などの文化財が多く残っています。

なかでも書院は、奥座敷である上段の間に^{かのうは}狩野派絵師による金箔を用いた煌びやかな障壁画が、対照的に次の間には質素な花鳥画が配されており、庭園を含めて、客人を迎え入れるにふさわしい格調高い景観を見せています。

なお、普段は非公開となっています（毎年11月上旬に一般公開予定としています）。

4 参考

○日本遺産とは

・地域の歴史的の魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを「日本遺産（Japan Heritage）」として文化庁が認定。

・ストーリーを語る上で欠かせない魅力溢れる文化財群を地域が主体となって、総合的に整備・活用し、国内・海外へも戦略的に発信していくことにより、地域の活性化を図ります。

5 お問い合わせ先

泉南市	電話	Eメール
成長戦略室プロモーション戦略課	072-447-8811	promotion@city.sennan.lg.jp
教育部生涯学習課	072-483-2583	syougai@city.sennan.lg.jp
貝塚市	電話	Eメール
総合政策部魅力づくり推進課	072-433-7066	miryoku-s@city.kaizuka.lg.jp
教育部文化財保存活用室	072-433-7126	bunkazai@city.kaizuka.lg.jp
熊取町	電話	Eメール
教育委員会生涯学習推進課	072-453-0391	shougaigakushuu-suishin@town.kumatori.lg.jp
住民部産業振興課	072-452-6085	sangyou@town.kumatori.lg.jp

【本件に関する連絡先】

大阪府泉南市 成長戦略室 プロモーション戦略課 担当：城野、赤坂、世古、竹中

TEL:[072-447-8811](tel:072-447-8811) Mail: promotion@city.sennan.lg.jp

追加認定を受けた構成文化財写真一覧



R6-1 金熊寺（泉南市）



R6-3 蕎原とちのき谷（貝塚市）



R6-2 信達神社（泉南市）



R6-4 降井家住宅（重要文化財の書院）（熊取町）

追加認定構成文化財位置図（出典：国土地理院ウェブサイト）

（泉南市） R6-1 金熊寺・R6-2 信達神社



（貝塚市） R6-3 蕎原とちのき谷



(熊取町) R6-4 降井家住宅

